

Utility Model Registration No. 3035557

Registered: January 8, 1997

Title:

Commodity Package

Abstract:

[Objective]

To provide a commodity package which enables simplification of packaging steps.

[Solving Means]

A commodity package comprises: a board 1 having through holes surrounding a region where a commodity is to be placed; and a transparent, sheet-plastic made cover case 2. In the cover case 2, a front cover portion 8 abutting a front side of the board 1 is connected to be integral with a rear cover portion 9 abutting a rear side of the board 1 via a hinge portion 10; recesses 11 and 12 for housing a commodity are provided at an inner side of the front cover portion 8, or at inner sides of each of the front cover portion 8 and the rear cover portion 9; and further, a projection 13 which passes through the through hole of the above board 1 is provided at one of the front cover portion 8 or the rear cover portion 9, while a depression 16 for the projection 13 to fit in to connect the front cover 8 and the rear cover 9 is provided at the other of the front cover portion

8 or the rear cover portion 9.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3035557号

(45) 発行日 平成9年(1997)3月28日

(24) 登録日 平成9年(1997)1月8日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 5 D 75/36
75/32

識別記号

庁内整理番号

F I

B 6 5 D 75/36
75/32

技術表示箇所

評価書の請求 未請求 請求項の数1 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願平8-8494

(22) 出願日 平成8年(1996)8月2日

(73) 実用新案権者 593111336

協永産業株式会社

名古屋市南区忠次一丁目4番21号

(72) 考案者 小山 颯永

名古屋市南区忠次1丁目4番21号

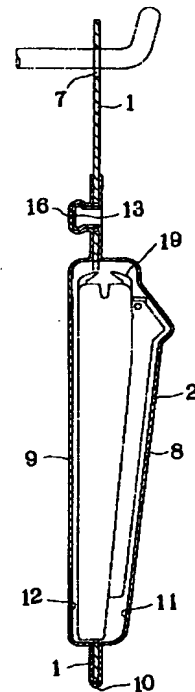
(74) 代理人 弁理士 杉山 泰三

(54) 【考案の名称】 商品の包装体

(57) 【要約】

【課題】 包装工程を簡易化できる商品の包装体を提供する。

【解決手段】 商品の配置箇所の周囲に通孔を設けた台紙1と、その台紙1の表面側に当接する表面カバー部8に対しヒンジ部10を介して台紙1の裏面側に当接する裏面カバー部9を一体的に連設し、その表面カバー部8の内面又は表面カバー部8と裏面カバー部9のそれぞれの内面に商品を収納する窪み11、12を設け、更に、表面カバー部8又は裏面カバー部9の一方に上記の台紙1の通孔を貫通する凸部13を設けるとともに他方に同凸13と嵌合して表面カバー部8と裏面カバー部9を接続する凹部16を設けた透明なプラスチックシート製のカバーケース2とからなる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 商品の配置箇所の周囲に通孔 4、5、6 を設けた台紙 1 と、その台紙 1 の表面側に当接する表面カバー部 8 に対しヒンジ部 10 を介して台紙 1 の裏面側に当接する裏面カバー部 9 を一体的に連設し、その表面カバー部 8 の内面又は表面カバー部 8 と裏面カバー部 9 のそれぞれの内面に商品を収納する窪み 11、12 を設け、更に、表面カバー部 8 又は裏面カバー部 9 の一方に上記の台紙 1 の通孔 4、5、6 を貫通する凸部 13、14、15 を設けるとともに他方に同凸部 13、14、15 と嵌合して表面カバー部 8 と裏面カバー部 9 を接続する凹部 16、17、18 を設けた透明なプラスチックシート製のカバーケース 2 とからなる商品の包装体。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 正面図である。

【図 2】 図 1 の A-A 線断面図である。

【図 3】 図 1 の B-B 線断面図である。

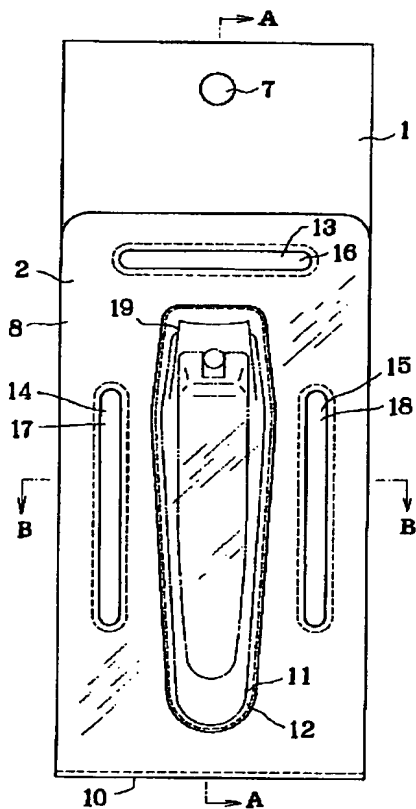
【図 4】 台紙のみの正面図である。

【図 5】 カバーケースを台紙に組み付ける状態を示す断面図である。

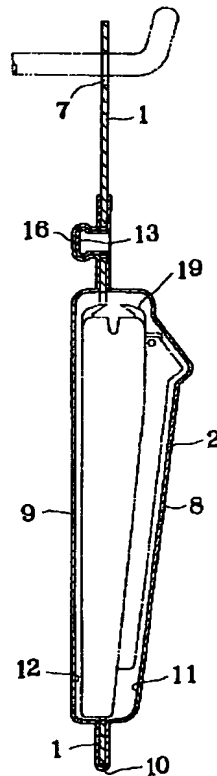
【符号の説明】

- | | |
|----|--------|
| 1 | 台紙 |
| 2 | カバーケース |
| 3 | 割貫孔 |
| 4 | 通孔 |
| 5 | 通孔 |
| 6 | 通孔 |
| 7 | 吊下孔 |
| 8 | 表面カバー部 |
| 9 | 裏面カバー部 |
| 10 | ヒンジ部 |
| 11 | 窪み |
| 12 | 窪み |
| 13 | 凸部 |
| 14 | 凸部 |
| 15 | 凸部 |
| 16 | 凹部 |
| 17 | 凹部 |
| 18 | 凹部 |
| 19 | 商品 |

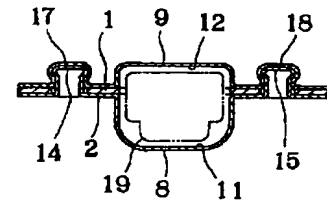
【図 1】



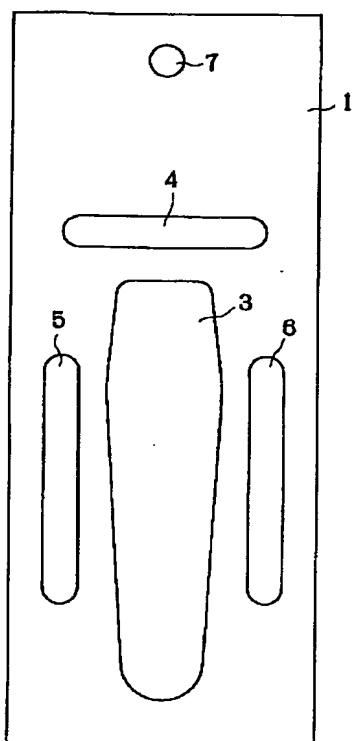
【図 2】



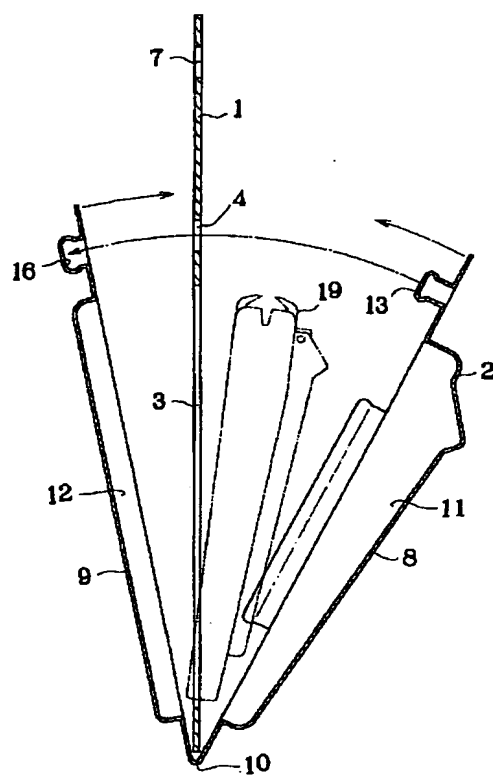
【図 3】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は商品を包装してそのまま店頭に展示できる商品の包装体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の一般的な商品の包装方式にブリスタパックと称されるものがある。これは、プラスチックシートを成形して商品を収容する窪みを内面側に有するカバーケースを形成して、表面に接着剤を塗布した台紙などにそのカバーケースを熱接着などによって固着した構造になっている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

上記のような従来の包装方式は、台紙に接着剤を塗布したり、台紙にカバーケースを接着する際に加熱したりする必要があるので、包装に手間がかかるという不満がある。そこで本考案は、包装工程を簡易化できる斬新な商品包装体の提供を目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記目的は本考案によって、すなわち、商品の配置箇所の周囲に通孔4, 5, 6を設けた台紙1と、その台紙1の表面側に当接する表面カバー部8に対しヒンジ部10を介して台紙1の裏面側に当接する裏面カバー部9を一体的に連設し、その表面カバー部8の内面又は表面カバー部8と裏面カバー部9のそれぞれの内面に商品を収納する窪み11, 12を設け、更に、表面カバー部8又は裏面カバー部9の一方に上記の台紙1の通孔4, 5, 6を貫通する凸部13, 14, 15を設けるとともに他方に同凸部13, 14, 15と嵌合して表面カバー部8と裏面カバー部9を接続する凹部16, 17, 18を設けた透明なプラスチックシート製のカバーケース2とからなる商品の包装体によって達成することができるものである。

【0005】

【実施例】

以下、図示した本考案の実施例について説明する。本考案の商品包装体は台紙1とカバーケース2とによって構成され、台紙1は紙製で、カバーケース2は硬質塩化ビニル等の透明なプラスチックシート製である。

【0006】

まず台紙1は、図4に示すように、中央部より少し下端寄りの箇所に商品を中心の中に収めることができる大きさの割貫孔3を設けるとともに、その周囲3箇所に通孔4, 5, 6を設けている。また、台紙1の上端部には吊下孔7も設けている。

【0007】

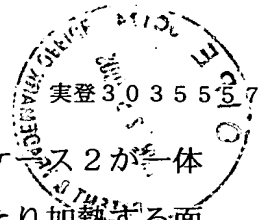
次にカバーケース2は、図5に示すように、表面カバー部8と裏面カバー部9とから成り、両者は下端部のヒンジ部10を介して一連に成形されている。表面カバー部8と裏面カバー部9の内面には、それぞれ商品を収容できる大きさの窪み11, 12を設けている。また、表面カバー部8の内面における窪み11の周囲には、裏面カバー部9に向って凸部13, 14, 15を突設している。また、裏面カバー部9の内面には、凸部13, 14, 15と対向する位置にそれぞれ凹部16, 17, 18を設けている。

【0008】

カバーケース2のヒンジ部10を台紙1の下方に位置させて、表面カバー部8を台紙1の表面側に、又、裏面カバー部9を台紙1の裏面側にそれぞれ当接し、かつ、表面カバー部8の凸部13, 14, 15を台紙1の通孔4, 5, 6に貫通してから裏面カバー部9の凹部16, 17, 18に嵌合させれば、表面カバー部8と裏面カバー部9が台紙1を挟んだ状態で一体的に接続して商品の包装が完成する。なお、図中、符号19が商品であり、この実施例では爪切りとなっているが、勿論これに限定されるものではない。

【0009】**【考案の効果】**

本考案の商品包装体は上記の通りであり、カバーケース2に設けた凸部13, 14, 15を台紙1の通孔4, 5, 6に貫通させて、同じくカバーケース2に設



けた凹部 16, 17, 19 に嵌合させるだけで、台紙 1 とカバーケース 2 が一体化して包装が完成するので、従来のように台紙に接着剤を塗布したり加熱する面倒がなく、包装工程が簡易化する効果がある。また、従来のカバーケースは台紙から取り外すと使用不能になることが多いが、本考案のカバーケース 2 は台紙 1 から取り外した後でも破損せず、その表面カバー部 8 と裏面カバー部 9 は凸部 13, 14, 15 と凹部 16, 17, 19 によって脱着自在となるので、引き続き商品の保管ケースとして利用できるという利点がある。